

# 「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

## 消防団夜間対応力向上事業

自治体名

福智町

消防団名

福智町消防団

### 1 事業の目的

近年では能登半島地震や隣接する北九州市で発生した旦過市場や鳥町食道街での火災など、夜間活動を含む長期的な対応を必要とする状況が非常に多くなっている。当町においても、夜間に対応する火災が多く発生している現状もあり、大災害や長期的な活動も想定し、地域防災力の向上を目的とする。

### 2 事業内容

#### 【福智町消防団夜間対応訓練】

夜間での火災及び災害等に迅速かつ効果的に対応ができるよう、LED投光器を活用し、夜間に発生した原野火災を想定した長距離中継放水訓練を実施した。

訓練の実施にあたっては、福智町消防団全15分団を2日に分けて実施することにより、実際の現場活動に近い形で中継放水訓練を実施した。

訓練後には、訓練参加者に対してアンケートを実施し、訓練の反省点や今後の訓練への希望、また消防団員確保に向けた施策等の調査を行った。

### 3 事業成果

#### 【福智町消防団夜間対応訓練】

訓練の実施にあたっては、実際の消防活動時に近い地区毎での連携訓練を実施したことで、より実践に近い訓練を行うことができた。

訓練終了後は、各分団にLED投光器を配備し、日々の消防活動に活用し、地域防災力の向上にも繋がっている。

今回の訓練を通して、夜間での中継放水訓練ができたことは、各分団の連携強化や指示伝達体制の再確認及び災害対応力の向上に繋がったと考える。

#### 【アンケート調査】

今回の訓練が今後の現場活動に活かせると答えた団員は9割以上であった。今後の訓練への希望としては、今回のような放水訓練や実際に火を使った訓練、人命救助訓練等の実践的な訓練を望む声が多く上がったため、団員の意識の向上及び技術習得に繋がるような有効的な訓練を行っていききたい。

また、消防団員確保に向けた施策については、報酬の引き上げや操法大会の廃止、事業所との連携、SNSを活用した広報等の貴重な意見を得ることができた。今回のアンケート結果を基に、地域防災力の向上及び強化を図るべく有効的な訓練を行うと共に、消防団員の処遇改善及び新規消防団員の確保に向けた取組も強化していききたい。

### 4 目標達成状況

| 指標         | 単位  | 当初目標 | 実績値  | 備考 |
|------------|-----|------|------|----|
| 説明会        | 回数  | 3回   | 3回   |    |
| 訓練参加者      | 人数  | 180人 | 200人 |    |
| LED投光器導入分団 | 分団数 | 15分団 | 15分団 |    |

### 5 その他参考情報

